
 * 土浦平和の会 *
 * ニュース 平成7年8月__2 NO.19 *

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立2664-2
 TEL 31-9122

「国体護持」と「予科練」

__8・15反戦平和集会、斉藤房雄先生の講演から__

「海軍飛行予科練習生」は1930年（昭和5年）横須賀で第1回生の募集がおこなわれた。高等小学校卒業生対象（乙種）で航空隊の中堅幹部育成を目的としていた。第1回は応募7000人中合格79名という難関であった。後に中学校4年終了、3年終了と範囲を広げたが40年までは定員250名。39年から阿見町霞ヶ浦航空隊に移った。41年から42年は定員1000人、43年前期は3000人と増員されたが、43年後期になると2万8000名、44年前期4万1000名、後期3万7000名、45年前期2万5000名と異常な募集がおこなわれた。43年2月にはガダルカナル島撤退、44年6月サイパン島米軍上陸と敗北が続き、本土空襲も激化する中で、予科練は「特攻」に変質していった。「命を捨てて國のために尽くす若者」によって国体が守られる。米田佐代子著「ある予科練の青春と死」や予科練生の発言を引用しながら、すでに飛行機が無いのに、予科練生を大量募集した目的は「本土決戦」のための決死隊の育成であり、「本土決戦」に固執した「国体護持」派の犠牲者だったと結論されました。（井上記）

「平和憲法の木」を植える申し入れをしよう

集会の中で、土浦市でも「平和憲法の木」を植えようという提案が、全員一致で決定され、集会の呼びかけ団体の代表が集まって、木の種類、植える場所、本数などを協議したうえで、市長に申し入れを行うことになりました。8月23日（水）夜、民主商工会事務所で協議することになりました。

秋の基地見学会の申込み締め切りは

8月31日（木）までです。お忘れ無く。

行事ごよみ

- 8月22日 「パネル展」合評会（石岡青少年センター 1時）
- 8月23日 「平和憲法の木」を植える協議会（民主商工会事務所7：30）
- 8月26日 シネフォーラム記念企画映画「戦場にかける橋」
「また逢う日まで」
- 9月 1日 平和の会理事会（1中地区公民館予定 7：30）
- 9月 2日 県平和委員会常任理事会（水戸 2時）
- 9月16日（土）秋の見学会（東京・神奈川の基地）
- ・17日（日） （横田・厚木・横須賀等）

